街は新聞だ

なるへそ新聞本日創刊

発行：西成なるへそ新聞社
ブレーカープロジェクト実行委員会
発行人：山田亘
編集：ブレーカープロジェクト外科実行委員会
山田亘
山村仁
図案：山村仁

思い出はニュースだ

西成なるへそ新聞社(大阪市西成区)は24日同紙の創刊を発表した。西成区で芸術活動を展開するブレーカー・プロジェクトとの共同企画によって生まれたこの独創的な新聞は、地域に住む人々の記憶を頼りに「西成の今昔」を新聞紙上に街の風景として再現して行く。一つ一つの記事は紙面上にある家や区画の様に扱われ、街の変化同様新しい記事を入れる際には古い記事を切り取って取り壊し、少しずつ時間をかけて記事が差し変わって行くというユニークな形式だ。人が人に話を聴き、手作りで進していく「手書き」の新聞。個人的な思い出話を、それが何年前のものでも新聞記事として現在の事のように扱うことで新旧の家々やそこに住む人々の記憶が入れ子の様に混在するリアルな都市の姿をこの新聞は体現すると、同紙編集長山田亘氏は語る。同社は一般参加の記者を公募中。参加する記者達の取材の過程そのものが人から人への歴史の伝承ともなっていく。

なるへそ記者

「西成なるへそ新聞」は新規の記者を広く募集している。忘れる事の出来ない大きな戦争体験ですら徐々に個人のディティールを失って単なる「歴史の一ページ」となって行く現在、この街に住む人々の生きて来た記憶が気づかない内に消えていってしまう前に、出来るだけ多くの方々から「暮らしの体験談」を聞き出していただきたいと同社広報の村田仁氏は語る。時空間を far く街の移り変わりの姿を一緒に作っていく「なるへそ記者」には報道腕章とメモ等が支給される。年間を通しての参加から、数回や一回限りでの参加も可能だ。

ウェブ上でも注目

ブレーカープロジェクトのフェイスブック上でも「なるへそ新聞の注目度が上がっている。キックオフイベント3/24のポストに対し現在イエ百を越えるアクセスがあり注目度がうかがわれる

砂糖の山を登頂す

二十二日夜未明、米国より築港に着いた貨物船内で、高木進さん(23)が、砂糖の山の登頂に成功した。高木さんは船からの積み上げ業務に就いており、この日は船庭部の倉庫に精製前の砂糖が根包されずに粒のまま、山になって運ばれて来ていた。スコップで山を切り崩していくのだが、長靴のまま砂糖の上に乗るので、白い砂糖は黒く汚れる。「あれ見たら、もう砂糖食べられへんよ」と高木さん。甘くはない登山のようである。

五時からメタボ

築港の船つき場で荷下ろしの仕事をする明係者の間では、港湾労働者の「夕方肥満現象」が話題になっている。同職場で勤務する男性は、「細身の同僚が、仕事に来た時と帰る時で着ぶくれの具合いが違っていた。」と述べる。

最近、船つき場で船搬された荷物の盗難が相次いでおり、肥満化した男性との関係が疑われている。

また、正月太りの男性労働者たちはあらぬ疑いをかけられ、困惑している。

プロ野球(3)?ストーブリーグ?

山王一丁目にて和光浴場を経営する3代目山口さん(7)(金塚小学校2年生)は御家族を含め14人の従業員で銭湯を運営している。燃料となる薪は椅子の工場や、お隣の木製ハンガー制作会社から出る廃材木を再利用する地球にやさしい銭湯である。働き者の山口さんは小学校から帰ってくるとたまに番台に座る。同級生のお友達にも人気のお湯が自慢だ。夏休みは6人の級友と路地裏で2ベース野球に興じながら釜場の面倒をみる。が、たまに野球に夢中になり薪を入れるのを忘れてしまう。遊び盛りの3代目は、銭湯が定休日である日付に9のつく日がたのしみだ。小学校がお休みの創立記念日9月19日は和光浴場もお休み。「友達と一日中遊び廻ってやる」と今から鼻息が荒い。

NARUHESOを世界語に

山田亘さん

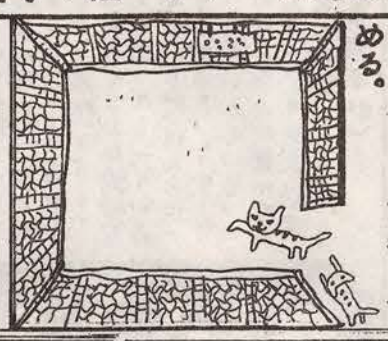
十四日フランスで開催された国際デザインシンポジウムにおいて、「なるへそ新聞プロジェクト」が発表され、ユネスコ・クリエイティブシティネットワーク参加都市代表者たちから大きな反響を得た。「NARUHESO」でそのまま押した、世界共通認識にしたいと発表者の山田亘氏(49)は語る。新たに始まる「西成なるへそ新聞」についても多く質問がなされ世界中から西成にも熱い目線が注がれている。

テントに期待

西成区の北門通りで、向かいあう店や家に張ったワイヤーの本数が、150本以上に達することが、このほど分かった。

ワイヤーは日除けテントを張るために用いる。関係者は、真夏の暑い日の買い物客増を狙う。白の天幕が百メートルにわたり連なる予定で、商店主らは心待ちにしている。

北門通りでタバコ店を営む中本雅子さんは「手動でテントを広げると、商品の陽焼けを防げる」と話す。通りはかつて半分川だったが、戦後は夜店も出て、深夜までそぞろ歩きでにぎわう。アーケードのような天幕に、一層のにぎわいへの期待を込める。



勇気百倍 決意新行

人は常に冷静沈着であって欲しいと願っているが、時にはそうはさせてくれない時もある。それは一人前の人となって物事を計画し運命をかける様な大仕事をする時等は平常心ではとても考えられない様な事を達成すると言う時である。如何なることも恐れることなく勇気溌剌にして事に当たることが一番大切な点である。然も此の心境を早く決心してこれを断行することが何より一番大切な点である。凡世訓として忘れてはならない八文字と言えよう。

木葉の史太郎 記

土曽本泰斗 個展
「土場所との対話、フリースタイル」
2013年5月4日(土)－6月1日(土)
営業：土日月の14:13:00-21:00
その他、平日19:00-21:00予約制
アートスペース ジューソー
山王1-5-31 新福寿荘内
#13

広告主求ム

Kioku 手芸館
たんす
お家のタンスに眠っている編み物を譲って下さい。
山王1-11-5(元・鈴木タンス店)

いきなきもの
小福屋
◆おしゃれなお作務衣 別誂えします。
山王2丁目14-9

大阪市現代芸術創造事業
ex・pots 2011-2013
Breaker Project
山王・飛田・太子・新世界
地域密着型アートプロジェクト
http://breakerproject.net